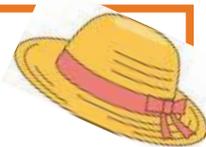


夏の地名講座

鳴瀬川下流から海へ

参加者募集!!



今年の「夏の地名講座」は、東松島市旧鳴瀬町エリアを歩いてみたいと企画しました。古代城柵の一つ赤井遺跡（牡鹿柵・牡鹿郡家推定地）の南端に位置し、明治時代の野蒜築港跡、新田（ニッタ）の溜池跡と新田開発地そして要害地名、さらに旭山南端で製鉄地を伝える小僧田の地名、その峰の反対側には古代の房総半島からの足跡や歴史を伝える矢本横穴古墳群があります。

夏の暑い盛りですが、熱射病に気遣いながら、みんなで歩いてみましょう。歩いていると、新発見があったりして楽しいものです。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。事務局までお申し込み下さい。一般の方も歓迎ですので、お友達などにもお声掛けをお願いします。

当日は、冷たいタオル・水・帽子を忘れずにご持参下さい。



日時	平成28年8月7日（日）
集合時間	午前 9：30集合 16：00 頃解散
集合場所	（JR東北線）鹿島台駅前（東口）
歩く場所	旧鳴瀬町西福田（要害）・新田（小僧田・要害） ^{にった} ・小野・浜市（野蒜築港跡・石上神社）・大塩付近
講座内容	古代牡鹿郡・旧鳴瀬町の歴史・地名・地形などを学ぶ
講師	太宰幸子会長
費用	1,200円（電車代は個人毎実費。保険・資料代・その他）
	昼食・飲み物は各自持参 して下さい。
申込締切	8月2日（日）
申込先	宮城県地名研究会 〒989-4104 大崎市鹿島台広長字鹿島71-5 TEL・FAX 0229-56-9459（太宰幸子）



小僧田から出土した炉壁



新田の港穴・溜池記念碑



野蒜築港橋脚跡